

弁論部

現部長 高成 珠生
前部長 南 愛
顧問 芳野・太田 先生

「弁論」とは。自らの意見や熱意を、大勢の聴衆の前で披露すること。しかし、その大舞台に立つまでは、いくつもの壁を乗り越えなければなりません。何度も推敲を繰り返し、原稿が完成してから、自らの想いが聴衆一人ひとりの心に行き届き、感銘を与えられるように発声練習を行います。どれほど練習を積み重ねても最後に乗り越えなければならぬものは、己の壁なのです。七分間という一瞬のためにそれまで培った力を、大舞台で発揮できて初めて「弁論」となります。

今年、七月に開催された全国総文祭では南先輩が四位入賞、全道大会には五名出場、さらには十一月に開催された全国青年弁論大会には有田先輩が、弁論部が発足して以来初めて出場し、八位入賞という輝かしい成績を収めることが出来ました。これまで先輩方が築き上げてくださった「東高弁論部」の伝統を受け継ぎ、その功績を新たなページに刻み続けられるように、日々努力を重ねていきたいと思えます。

弁論を続けて身に付いた力は一生の財産です。その力は、自分自身の糧となり自信となります。これを探し求めるために、私たちは進み続けています。

